



妙陵

妙高市立妙高中学校
学校だより 第26号
平成26年9月15日

携帯電話用QRコード



今年の体育祭は今までで一番！

校長 鈴木 恒夫

◆「今年の体育祭は今までで一番！」・・・妙陵体育祭を終えての感想です。でも誤解しないでください。今までの体育祭が良くなかったという意味ではありません。私は今まで36回の体育祭に関わってきました。なぜか毎年「今年が一番良かった。」と感じるのです。今年もそうでした。たぶんこれは過去との比較ではなく、「生徒たちの素晴らしい姿に接することができた」ということへの素直な喜びの表れだと思います。毎年このように感じるができるのは、とても幸せなことです。

写真①は妙陵体育祭の最後の場面です。(昨年も同じ場面を載せました。)

今年度は赤軍(あかぐん)が「競技」「応援」「パネル」の三冠を獲得しました。全てで準優勝に終わった青軍(せいぐん)は、とても悔しかったと思いますが、閉会式後の解団式で青軍の方から赤軍に駆け寄り、妙高中学校の「輪」ができあがりました。スローガンにある「・・・最高の同志と輪をつくれ！」が実現した素晴らしい場面でした。



① 妙高中学校の「輪」(解団式)

妙陵体育祭・・・特色ある種目を紹介します！ ◆親子レース

「20年位前から行われている種目だ。懐かしいなあ。」来賓で来られた地域の方の声です。お子さんが妙中生だった頃、保護者として参加したそうです。「そんなに前から？」と興味をもったので過去の資料を調べてみました。「創立二十年のあゆみ」という記念誌に右の写真③が載っていました。写真の詳しい説明はありませんでしたが、記事には「昭和61年度に文部省より、道徳教育『学校家庭連携推進校』の指定を受け、昭和63年9月に研究発表会を開催」と書かれていました。そこで当時の教職員に電話で聞いてみると、「研究会との関係で昭和62年に『親子レース』が始まった。」という証言を得ました。何とこの種目は28年前から現在まで続いていることになります。

「普段、親子が一緒に何かをすることはないので、嬉しかった。是非今後も続けてほしい。」・・・先ほどの地域の方が話しておられました。他の学校にはない、妙中伝統の種目です。妙陵体育祭のよさの一つとして大切にしていきたいと思います。



④ 「THE EKIDEN」 PTAチーム

◆「THE EKIDEN」・・・6名の選手が襷を繋ぐ「駅伝」。私は今まで11カ校に勤務しましたが、長距離種目が体育祭に設定されている学校はあまりありません。駅伝やクロスカントリーで伝統を築いてきた妙高中学校ならではの種目です。今年度はPTAチームも加わりました。盛り上げていただいた川上PTA会長様、笹川PTA副会長様に感謝いたします。



② 3年親子レース (H26)



③ 親子レース (S63)